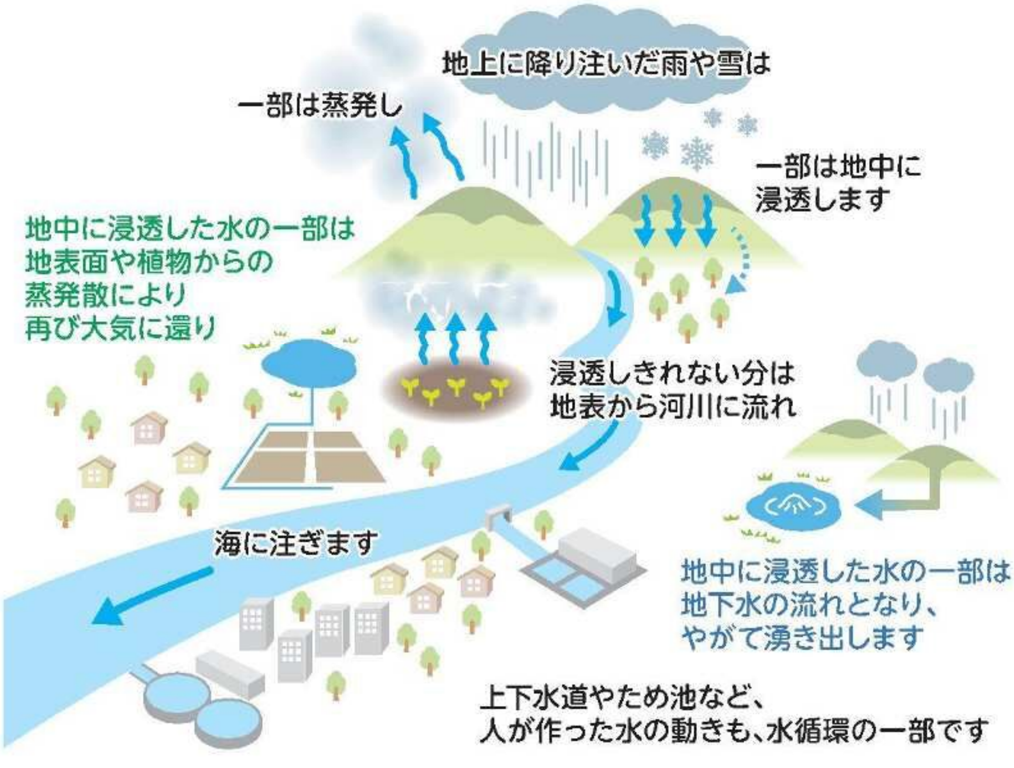
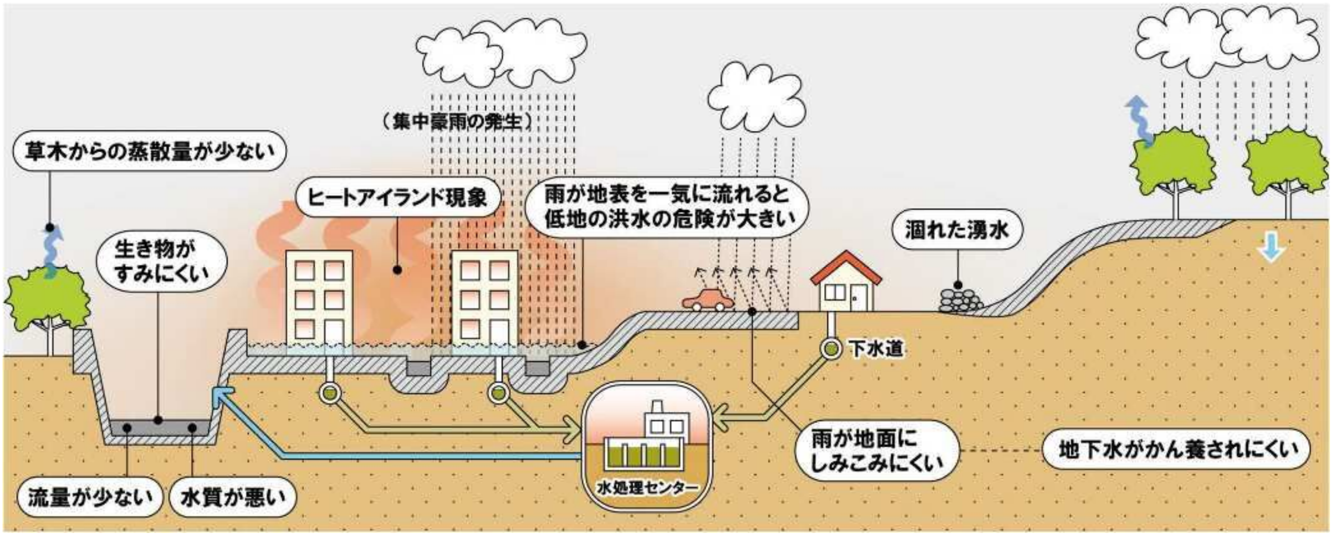
水の環復活なごや戦略 実行計画２０３０について

名古屋市環境局地域環境対策課

水循環とは

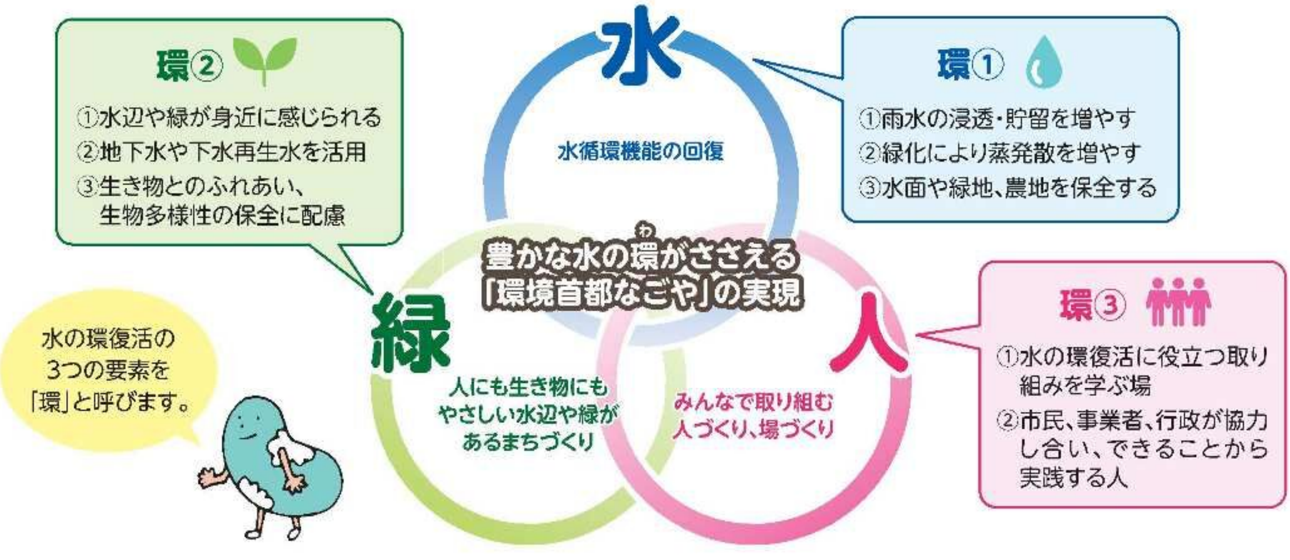


計画策定の背景



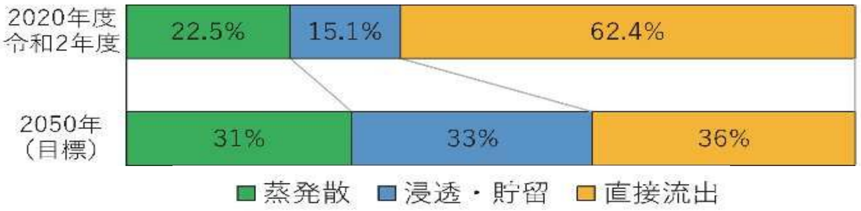
取り組みを進めるなかで明らかになった課題、
水循環に関連する法改正等の動き（グリーンインフラ推進戦略等）、
リニア中央新幹線開業等に合わせたまちづくりの機会
を捉えて、取り組みを促進するため、新たな実行計画を策定

「水の環復活」とは



第２期実行計画の主な課題

①　雨水の浸透・貯留、蒸発散



＜水収支＞
市域に降った雨が外にでていくとき、
「蒸発散」
「浸透・貯留」
「直接流出」
にどのように分かれるか、
という割合

○ 水収支の目標は達成できなかった。一方で、市街地における個別の取り組みが見えにくくなってしまうことが課題

②　水循環の認知度・理解度

第２期実行計画策定前（2012年・平成24年度）　２６．６％
現状（2023年・令和5年度）　４５．９％(19.3%増)

○ 認知度・理解度は増加したが、今後も継続して情報発信を行う必要がある。

２０３０年にめざす状態　住宅地（身近な生活空間）

３つの環ごとの取り組みと指標・目標　環①

環①：水循環機能の回復

重点施策：グリーンインフラを活用した雨水貯留浸透

京都市の雨庭

〇雨庭（レインガーデン）の試験整備や追跡調査、情報発信等を実施
→ 中区三の丸地区で試験整備を実施予定

３つの環ごとの取り組みと指標・目標　環②

環②：人にも生き物にもやさしい水辺や緑があるまちづくり

重点施策：水循環機能を活かした地域の魅力向上

〇個別エリアの地下水の保全・活用等を行い地域の課題解決や魅力向上につなげる
・晴天時流量の充実を目指し、山崎川周辺で雨水浸透の取り組みを推進

山崎川の湧き水

３つの環ごとの取り組みと指標・目標　環②

悪臭が課題となっている新堀川で地下水を利用した水質浄化を実施

＜実施か所＞

・中区上前津２丁目
（記念橋下流）

・中区富士見町
（富士見橋上流）

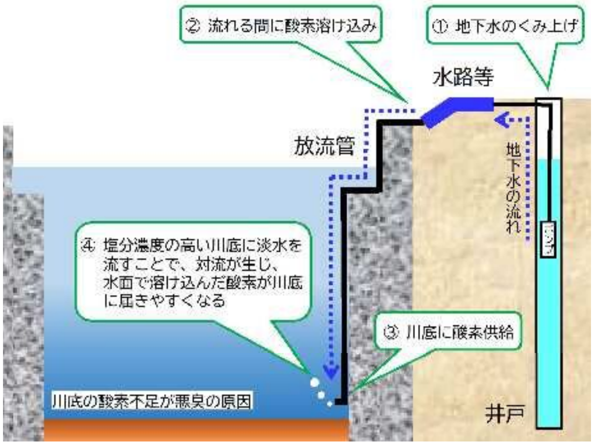
・昭和区福江２丁目
（法螺貝橋上流）

・中区千代田１丁目
（舞鶴橋上流：R6整備済）

・底層の溶存酸素濃度（DO）の改善
・成層化（表層と底層の塩分濃度の差）の軽減

を目的に上流部４か所の川底から地下水を放流

舞鶴橋上流の親水広場



地下水利用のイメージ

３つの環ごとの取り組みと指標・目標　環③

環③：みんなで取り組む人づくり、場づくり

重点施策：水循環の自分事化を進める仕掛けづくり

○市内の水にまつわる歴史と絡めて情報を発信するなど、水循環について知る機会をつくる。
→「なごや歴史探検」アプリにて、まち歩きコース発信

なごや NAGOYA

なごや歴史探検　検索

○取組実施のインセンティブとなるよう、先進的な事例を表彰するなど、実践の環の広がりをめざす。